

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレイヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念のもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

日本リーグ唯一の公式試合球
全日本実業団連盟主催大会
唯一の公式試合球

H312 ヌエバ 国際公認球 検定球
縫い・人工皮革、3号球、ラテックスチューブ

H212 ヌエバ 国際公認球 検定球
縫い・人工皮革、2号球、ラテックスチューブ



www.molten.co.jp

株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川五丁目5-7

重点施策実行のための “支援”



(財)日本ハンドボール協会常務理事 高村 誠一

平成 21 年度最初の常務理事会で川上専務理事から「日本協会の活動のベクトルは全て強化に向ける」との指示がありました。これは日本ハンドボール界が一丸となって、2012 年のロンドン五輪にはなんとしても出場を果たす、というトップの強い意志を明確に示されたものです。

日本協会にはプロジェクトを含み 6 つの事業本部（マーケティング、総務、普及指導、強化、競技、プロジェクト）がありますが、本年度は全体で 88 の重点施策を実施することとしています。施策の中でも強化のために“特に重要”な項目の実行については、協会を挙げて支援し確実に実行することによって、最終的には日本代表チームの五輪出場につなげる事が最重要事項であります。

総合企画室の役割は、それらの事業が確実に実行され、強化につながる効果を最大限発現するための支援であります。重点施策は事業部単独で実行するものもありますが、ほとんどが複数の事業部が協力して行うものです。事業部間の緊密な連絡はもちろんですが、部分最適ではなく全体最適を考え調整することも必要となってきます。事業部間の潤滑剤としての機能を十分発揮することが重要です。総合企画室としましては、関係各位のお知恵をいただきながら、フットワークを効かし業務を遂行していきたいと思っております。

現在、各事業本部からはそれぞれの重点施策に対し「責任者」と「スケジュール」を明確にした実行計画書が提出されています。総合企画室はその進捗状況を確認することも役割のひとつですが、むしろ大切なことは、進捗に支障を来たした場合の課題を早期に発見し、それに対してどういった支援ができるかを考えることだと思います。そのためには、関係者間の情報の共有化が必要不可欠です。自らのアンテナを高く上げ、常に当事者意識をもって取り組んでいきたいと思っております。

最後に、私はハンドボールに出会って以来これまで 32 年間、選手およびスタッフとしてハンドボール界各方面の皆様にも多大なるご指導・ご支援をいただきました。またナショナルチームの一員として貴重な経験も積ませていただき、その経験が私の人生の大きなよりどころとなっています。更に、ハンドボールを通じて人間として様々なことを学ばせていただきました。ハンドボールから得たこれまでのご恩に対し、少しでも報いることができるよう、また、ナショナルチーム経験者の一人として、日本代表チームがなんとしても五輪に出場できるよう、微力ではありますが精一杯努力していきたいと思っております。

2010年男子ユースオリンピックアジア予選／第3回女子ユースアジア選手権（2010年ユースオリンピック予選）に向けての**抱負**

第3回女子ユースアジア選手権（2010年ユースオリンピック予選）が7月4日からヨルダンにて、一方2010年男子ユースオリンピックアジア予選が7月4日からソウルにて夫々開催されました。

前回の大会では、女子は予選を勝抜き（5カ国中2位）ユース世界選手権への出場（結果は16カ国中13位）を果たしております。

今大会は、女子が2010年ユース世界選手権（7月：ドミニカ）の予選、更に男女共に2010年8月シンガポールで開催の第1回ユースオリンピック大会の予選（本大会の第1位がアジア連盟より推薦を受けることができる。最終決定は日本オリンピック委員会。）を兼ねており、夫々の出場権獲得を目指して、大会直前に男女HC及び代表の選手から抱負を語って戴きました。（本号が発行された折には大会は終了しておりますが、大会結果の報告は次号を予定しております）

男子

滝川一徳 全日本男子U-19ヘッドコーチ

■アジア予選にむけての取り組み

～「心・技・体」から「体・心・技」へ～

4月、5月、そして6月の直前合宿と合計3回の強化合宿を行いました。4月・5月は徹底してフィジカルトレーニングを行いそのなかでスキル・戦術を少しずつ取り入れました。朝のランニング、午前のフィジカル中心のトレーニング、午後のスキル・戦術中心のトレーニングと三部練習、そして夜のミーティングと非常に充実した合宿を行うことができました。さらに栄養指導も行い、1日6000Kcalの食事を摂取することを課題に食事トレーニングの一環として徹底しました。国際試合においては、フィジカルがあって初めてスキル・戦術を発揮できることを理解させ取り組ませました。「巧さ」は「強さ」に消されてしまうという意識をこの世代から体感させたいと考えました。選手の取り組みは非常によく、ハードなトレーニングを行ったにもかかわらず体重を増やし、合宿を終えることができました。しかしそれを継続できる選手とできない選手がおり、期待通りにアジア予選までのフィジカルの向上が見込めないケースもありました。これからも大きな課題であります。

選手の選考においては、第1・2回の合宿においてフィジカルレベル、スキルレベル、ポジション（1ポジションに最低2人ずつ）を考慮し選考しました。どの選手も必死に取り組むため選考には頭を悩ませましたが、アジア予選時点でのベストのメンバーを選考し大会を迎えることができました。

■大会の目標・戦いかた

日本は予選Aグループに所属し、UAE・中華台北、カタールと戦うことになりました。特に中東の2カ国は、体格的に不利が予想され、そして体格をいかした戦術が多いため、DFラインを高くし、激しいコンタクトを繰り返すことで相手にミス誘発させFBに持ち込むことを徹底してのぞみたいと思っています。予選リーグは3試合ともハードな展開になると予想されますが、日本のよさである機動力をフルにいかし1位通過し、そして残り2試合も同様に乗り越え優勝しユースオリンピックに出場できるよう選手・スタッフ一丸となり全力を尽くしたいと思っています。

最後に、味の素ナショナルトレーニングセンターの素晴ら

しい環境の中で、3回に及ぶ充実した合宿を行うことができたことに感謝し、フル代表のトレーニングを間近で見ることができたり、大崎電気・明治大・国土館大との練習マッチをさせて頂いたりと限られた時間の中、本当に恵まれた中で強化することができました。所属高校の大会や定期考査など過密日程の中、選手を代表チーム最優先に送り出して下さった監督の先生方にもこの場をお借りして御礼申し上げます。最後に、代表としての誇り、そして「覚悟と責任」を持って闘ってきたいと思います。

元木博紀（主将・藤代紫水高校）

私はキャプテンの立場からこの3回の合宿を見て思ったことは、1回目の合宿では1回目ということもあり、チームとしてのまとまりもなく、又お互いに遠慮している部分もあってなかなか思うようにいかなかったことです。そのまま合宿を終えてしまいました。

2回目はみんな徐々に遠慮もなくなりコートの中でのコミュニケーションもとれるようになり、チームとしていい方向に向かってきました。しかし、いまいち全体的に元気がなく、盛り上がり欠けたまま合宿を終えてしまいました。

3回目は、全員の気持ちも一つになり、チームとしての方向性も高まりました。そして、この3回の練習を乗り越えたことを自信に思い、覚悟と責任を胸に秘め、たくさんの期待を背負って正々堂々日本の代表として戦ってきます。

玉城慶也（興南高校）

私は3回の合宿を終えて感じたことは、1回目の合宿ではみんなコミュニケーションが足りず、言いたい事を何も言えないし、3年生2人に頼りすぎてチームとしてのまとまりがないまま終わってしまいました。2回目の合宿では、1回目よりまとまりが出て、言いたい事も言えるようになっていたし、チームの和も出てきました。けれど、全体的に少し元気がないまま終わってしまいました。3回目の合宿では、チームとしての方向性も決まっていき、練習の雰囲気もだんだん良くなり、全員のモチベーションも高まってきました。

この3回の合宿を乗り越えたことを自信を持ち、その自信とみんなからの期待を背負って「勝利」という言葉に向けて闘っていきます。

上野真悟（永見高校）

私は、今までの合宿を通じて、初めはプレー面やコミュニ

ケーションの面でもいろいろと不安があったまま、合宿が始まりました。練習は、3部練習で、とても大変でした。しかし、練習をしていくうちに全員が自分の意見を言い合えるよ

うになり、一つのチームとしてまとまってきたと思います。今大会では、最高の舞台で最高のプレーをしてきたいと思っています。

女子

繁田順子 女子ユースヘッドコーチ

今般、編集部のご好意によりユースのカテゴリーにも情報提供の場を与えて下さった事に感謝致します。第3回女子ユースアジア選手権大会出場にあたり、チーム目標や選手選考について述べさせていただきます。

■選手選考について

年齢は、1992年1月1日～1993年12月31日。

学年では、高3の早生まれと高2、1年生が対象となる。選考基準としては、この年代の強化指定選手と候補選手をベースに20年度全国選抜大会も視野に入れ、ポジション、フィジカル、形態的、体格的特長を考慮し選考した。また、NTS以外ではあるが即戦力として活躍が期待できる選手もピックアップした。反面、怪我やチーム事情で数名の辞退者が出たのは残念である。ともあれ選考した選手全員が最高のパフォーマンスで戦ってくれると信じている。

■大会に向けて

若い世代のハンドボーラーが世界の舞台に挑戦できるための登竜門となるこの大会。今回は、2010年ユースオリンピック予選も兼ねており、当初、北朝鮮を含む10ヶ国の参加が予想されていたが、最終エントリーは、日本・韓国・タイ・カザフスタン・ヨルダンの5ヶ国となった。いずれにしても本大会への出場権獲得が大前提となる。しかし、過去2回、本大会出場成るも我々の前に立ちはだかったのは、やはり韓国の壁だった。日本ハンドボール界の課題はそのままユースの課題でもある。

2回の強化合宿(5月…4泊5日・6月…6泊7日)において、共通課題は「戦う集団の一員」であるという自覚。まず、フィジカル、メンタルの両面での強化として、早朝より3000mタイムトライアルを実施。コーチとトレーナーがペースメーカーとなった事も功を奏し、日毎にタイムは伸びた。

次にゲーム運びとして、1試合で30点以上の得点と20点以内の失点を目標とする。

- ① DF：・パラレルアタック・ツーアタックによる併用
- ② OF：・6-0DF・5-1DFに対する攻め方
- ③ 数的有利、不利時のシステムの構築
- ④ 速攻

以上を中心にチーム戦術の理解を深めることを課題に挙げた。当然、個々のスキル・スタミナ・判断力の強化が成された上でのチーム力である。中でもイージーミスに対しては勝敗を左右する厳しさを求めたい。

日本独自の足を使ったハンドボールを前面に打ち出し、選抜チームでなく「単独チーム」としてチーム力を出すことが必要であり、全員で戦う姿勢を持ち、打倒韓国に強い意識で臨みたい。

応援よろしくお願い致します。

大谷佳奈美 (主将・神戸星城高校)

私は今回ユースのメンバーに選ばれ、合宿を重ねるごとに日本代表ということを感じていきました。普段はそれぞれ違うチームのメンバーなので合わないところもありましたが、短い期間の合宿でしっかり調整してきました。やはり日本の最大の敵は韓国です。打倒韓国と言われ続け、きつい合宿の練習も乗り越えてきました。ものすごく厳しい試合になるとは思いますが、自分がキャプテンとしていろいろな面で支えていき、チームのためにできることをしっかりやりたいと思っています。今回の大会にあたって、協力して下さったたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れずに、1試合1試合強い気持ちで戦ってきたいと思います。

中村光代 (文大杉並高校)

私の目標は、今年の夏に行われるユースアジア選手権で優勝し、ユースオリンピックへの出場権を獲得することです。また、昨年、U-16の日韓戦で惜敗した韓国に勝ち、何としてもリベンジを果たしたいと思っています。

私は昨年もユースのメンバーに選出されました。初めて世界のハンドボールを目の当たりにした時、言葉では言い表せないような感動を覚えました。どのプレーにも迫力があり、私の予想をはるかに上回るものでした。しかし、私はベンチ入りすることができませんでした。そのため、外国の選手がどれほどのスピードやパワーがあるのか実際には体験していません。日本の選手が体当たりでディフェンスしても、びくともせずにシュートを打ちきる選手も多く、世界を相手にすることは本当に大変なことだと思いました。

昨年は外からしか観戦できませんでしたが、その経験を生かし、今年は自分自身がコートに立ち、自分の力を最大限に発揮し、チームに貢献したいと思います。そして、日本代表という誇りを忘れずに、闘争心を持って戦って行くことを誓います。

名淵友紀 (高松商業高校)

海外の人たちを相手にして、自分たちの思い通りの試合運びをすることは難しいと思います。試合の中で、ミスが続いたりなかなか点数が入らず苦しい時もあるかもしれませんが、しかし、そんな中でも、チームの雰囲気盛り上げ、流れを変えられるようなキーピングをしていきたいと思っています。相手は身長も力もあり、圧倒されることもあると思いますが、仲間を信じ、自分らしいキーピングをしてチームの役に立てるように頑張ります。そして、指導して下さった人たちははじめ、支えて下さったスタッフの皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに、一戦一戦を大切に戦いたいと思います。最後には勝利がつかめるように、選ばれた16人全員で精一杯頑張ります。

第32回国際ハンドボール連盟 (IHF) 総会に参加して

(財) 日本ハンドボール協会副会長 多田 博

本年度総会は6月5日、6日エジプトのカイロで開催されました。日本ハンドボール協会からは国際ハンドボール連盟役員として渡邊会長が、日本代表として市原副会長と私が参加いたしました。私にとっては初めての経験で、非常に興味深かったのと同時に考えさせられる事の多い総会でした。行く前に蒲生国際部長より問題点についてのご指導を受けておりましたが、聞きしに勝る内容でした。

総会前日4日にアジアハンドボール連盟(AHF)のアルテヤブ氏(クウェート)より召集があり、緊急のアジアハンドボール連盟会議が開かれました。主旨は総会の選挙におけるアジア連盟として推薦する役員11名及びオウディター2名の通知でした。更に予定されている動議それぞれの可否を指定するものでした。秘密投票ゆえ束縛できるものではありませんが、アラブ諸国・南西アジア諸国は盛り上がり、東アジア諸国は冷静な感じでした。日本側は、是々非々で対応する事を内部間で了承しました。

6月5日9時より本会議が開始されるはずでしたが、ハッサムスタファ IHF 会長よりアフリカ諸国が他のホテルにいて到着が遅れるとの報告があり、20分後に大勢のアフリカ諸国の団体が入場してきました。少し異常な雰囲気のもと会議開催が発声されました。以下議事の進行順で報告します。

1. 出席投票数の確認

最終的に142ヶ国、142票が確認された。

2. 新加盟国

シンガポール、インドネシア、ペルー他全部で7ヶ国が承認された。総加盟国は149ヶ国となった。本当に、ハンドボールをやっているのだろうかと思われる国も有るように感じた。更に、ニュージーランドの国内連盟問題が報告された。現在のニュージーランドハンドボール協会(NHF)は活動をしておらず、新しいハンドボール連盟をIHFとしては認めたいとの動議であった。旧NHFは、かねてより反ハッサムスタファ派で、ムルマター氏を応援していたと聞いています。日本は、本件ニュージーランドの国内問題なのでニュージーランドが決めれば良いとの立場から棄権した。

結果は絶対多数で本件は承認された。

3. 委員長報告

ハッサムスタファ会長より、いかにこの5年間自分がIHFに貢献してきたかの自己宣伝が中心。その中でも興味あった点は、

- * 機構の新しい構成、技術、運営、資金調達を3本の柱として、それぞれ新しいオペレーションを導入する。
- * 2007年ドイツで行われた世界大会で、ハンドボールはSmart, Dynamic, Attractive, Highspeedの点で大きく進化した。決勝戦は20,000人以上の観衆が集まっ

た。決勝戦のテレビ放映では129百万人が観戦した。TV放映権収入が2005年以降、毎年50-100%の伸びを示している。

* ビーチハンドボールの人气が上がって来ている。今後IHFとしてもサポートして行く。

* 審判の重要性

IHFとしての承認の仕方を今後検討していく。特にTop Refereeの育成に注力する。これまでも2005-2009のTop Referee Training Programを作りTop Refereeの道を作ってきたが、更に新興国への支援等新プロジェクトを作る。

* IOCとの関係

非常に重視している。2012年ロンドン大会のオリンピックプログラムからソフトボール、野球は落選したが、ハンドボールは25競技の中に残った。ドーピング問題は極めて重要な案件である。

* その後、自分への批判に対する弁明を行い、調査委員会報告として何の根拠も無かった事が判明したと説明。その元凶として、ムルマター専務理事がIOCへの暴露を含むIHFに対し不利な言動を繰り返したとして彼の辞任を求める発議を行った。ムルマター氏よりその弁明、及びルクセンブルグを中心にその他北欧勢から異議の申し立てがあったが、絶対多数でこの動議は通った。しかしながら本動議は法的拘束力が無く、ムルマター氏は辞任要請に応じなかった。

日本は説明が良く分からぬとの立場で、投票には棄権した。東アジア諸国も対応は日本と同じでした。

その後すぐに Coffee 休憩。

4. 会計監査報告

2007 年度、2008 年度の決算及び監査の報告が為された。

ルクセンブルグ・カイザー氏 (IHF 会長候補) より、その前の会長報告に関する質問を行おうとしたがハッサムスタファ会長は、会計監査報告と関係なしとして質問を封じる動議を行った。これも絶対多数で彼の質問を認めなかった。

5. 電子投票

投票に際し、これまでの秘密記名投票に変わりコンピューター使用の電子投票を採用したいとの動議が事務局より出された。これに対し、秘密性確保の観点で法的に問題あるのではとの質問に対し、顧問弁護士が Secret Voting は守られていると説明。この動議は承認された。その時には既に全ての電子投票用の機器が用意されており、その手際よさに驚かされた。これを使つての選挙に入る。

6. 選挙

当初、電子投票に不慣れで投票数確認に時間を要したが、最終投票数が 143 ケ国となった。一部興味深かった選挙結果を報告する。

President

ハッサムスタファ 現会長 115 票 ※当選
カイザー氏 (LUX) 25 票

1stVP ロカ氏 (ESP) 無投票 ※当選

Secretary general

デルプランケ氏 (FRA) 113 票 ※当選
ムルマター氏 (SUI) 28 票

審判委員長 (PRC)

プラウゼ氏 (GER) 71 票 ※当選
タワコジ氏 (IRI) 65 票

総会前日 AHF が推薦した役員 11 名中 10 人がそのまま当選。落選したのは審判委員長のイランのタワコジ氏のみであった。大接戦でしたが、これにはハッサムスタファ会長がプラウゼ氏応援に回つた為と見られています。

タワコジ氏は色々問題ありとして、我々も不適との考えをもってプラウゼ氏に投票しました。日本が投票した人の中で当選となったのは、このプラウゼ氏だけでした。

選挙が終わりヨーロッパ勢の弱さに驚きましたが、それ以上に脱力感、無情感を強く感じました。

今の IHF はクエートを中心とするアラブ勢が取り仕切り、アフリカ諸国が追随し、更に歴史的地勢的に近いスペイン、フランスが取り込まれ又南米諸国も組する状態となっています。北欧、中欧など歴史的にハンドボール強国であった国々の発言力が非常に低下しており、ハンドボールとは縁の遠かった国々が支配する状況です。

これで総会第一日が終了。重要事項は初日に殆ど決定した様子でした。

第二日は新会長としてハッサムスタファ氏が議事を運営しましたが祭りの後の雰囲気であつたと進行しました。

最後に次回 2011 年の通常総会の場所の選定で

モロッコ・マラケシ 73 票 ※当選
ハンガリー・ブダペスト 59 票

となりました。

これで最後というときに、突然マレーシアの代表より会長への提言があり、会長が議長を兼任しているのは問題ありとし、更に議長が反対の質問を封じるのは良くないと発言した。ハッサムスタファ会長は無視していたが、同感と思う人も多くいました。

以上、総会への出席報告ですが IHF がこのままではいけない、改革が必要であるとの気持ちを強くして戻ってきました。ただ今はどうすればこの問題を解決できるのか答えが見つかりません。これから日本協会としてどう対応すべきか良く皆様と議論していきたいと思つています。

KIRIN

スポーツの感動を、ありがとう!



飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒は、胎児・乳児の発育に悪影響を与えるおそれがあります。お酒は楽しく、ほどほどに。

www.kirin.co.jp
キリンビール株式会社

第34回日本ハンドボールリーグ 日程

週	月日	開催地 都道府県	会場	男子		女子	
				時間	組合せ	時間	組合せ
1	9月5日(土)	愛知県	枇杷島スポーツセンター	13:00	大同特殊鋼 vs 湧永製薬		
		沖縄県	浦添市民体育館	14:00	琉球コラソン vs 豊田合成		
	9月6日(日)	神奈川県	横浜文化体育館	16:00	大崎電気 vs トヨタ車体	14:00	オムロン vs ソニー
		石川県	小松総合体育館	13:00	北陸電力 vs トヨタ紡織九州	15:00	北國銀行 vs メイプルレッズ
	三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs HC名古屋	
2	9月12日(土)	広島県	東区スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs 豊田合成	13:00	メイプルレッズ vs 三重
		沖縄県	浦添市民体育館	14:00	琉球コラソン vs トヨタ紡織九州		
	9月13日(日)	長野県	千曲市戸倉体育館	14:00	トヨタ車体 vs 北陸電力	12:00	オムロン vs HC名古屋
		鹿児島県	霧島市国分体育館			13:00	ソニー vs 北國銀行
3	9月19日(土)	愛知県	東海市市民体育館	13:00	大同特殊鋼 vs トヨタ車体		
			豊田合成(株)健康管理センター	15:00	豊田合成 vs 北陸電力	13:00	HC名古屋 vs ソニー
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs オムロン
	香川県	高松市香川総合体育館	13:30	大崎電気 vs トヨタ紡織九州			
9月20日(日)	三重県	名張市総合体育館			14:00	三重 vs 北國銀行	
4	9月26日(土)	福井県	福井県営体育館	13:00	北陸電力 vs 大崎電気		
		愛知県	ウィングアリーナ刈谷	14:00	トヨタ車体 vs トヨタ紡織九州		
	9月27日(日)	三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs ソニー
		京都府	京都府立体育館			14:00	オムロン vs 北國銀行
福岡県	福岡市民体育館	16:00	大同特殊鋼 vs 豊田合成	14:00	HC名古屋 vs メイプルレッズ		
5	10月10日(土)	愛知県	スカイホール豊田	16:00	大同特殊鋼 vs トヨタ紡織九州	14:00	オムロン vs 三重
		広島県	湧永満之記念体育館	13:00	湧永製薬 vs 北陸電力		
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs ソニー
		沖縄県	沖縄県総合運動公園体育館	14:00	琉球コラソン vs トヨタ車体		
	10月11日(日)	石川県	小松総合体育館			13:00	北國銀行 vs HC名古屋
6	10月17日(土)	千葉県	市川市塩浜市民体育館	14:00	大崎電気 vs 豊田合成		
		愛知県	東海市市民体育館	13:00	大同特殊鋼 vs 北陸電力		
			春日井市総合体育館	15:00	トヨタ車体 vs 湧永製薬	13:00	HC名古屋 vs オムロン
	10月18日(日)	石川県	小松総合体育館			16:00	北國銀行 vs ソニー
三重県	四日市市中央緑地体育館			14:00	三重 vs メイプルレッズ		
7	10月24日(土)	愛知県	豊田合成(株)健康管理センター	14:00	豊田合成 vs トヨタ紡織九州		
		愛知県	知立市福祉体育館	15:00	トヨタ車体 vs 琉球コラソン	13:00	HC名古屋 vs 三重
		広島県	東区スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs 大崎電気	13:00	メイプルレッズ vs 北國銀行
		熊本県	熊本県立総合体育館			14:00	オムロン vs ソニー
	10月25日(日)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 琉球コラソン		
8	10月31日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 豊田合成		
		山梨県	甲州市塩山体育館	15:00	琉球コラソン vs 大同特殊鋼		
			石川県	小松総合体育館			13:00
		佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	トヨタ紡織九州 vs 大崎電気	13:00	ソニー vs HC名古屋
熊本県	人吉スポーツパレス			14:00	オムロン vs メイプルレッズ		
9	11月7日(土)	愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs トヨタ車体	12:00	オムロン vs 北國銀行
				16:00	大同特殊鋼 vs 大崎電気		
		広島県	東区スポーツセンター			14:00	メイプルレッズ vs HC名古屋
	鹿児島県	霧島市国分体育館			15:00	ソニー vs 三重	
11月8日(日)	広島県	湧永満之記念体育館	14:00	湧永製薬 vs 琉球コラソン			
10	11月14日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 大同特殊鋼		
		沖縄県	浦添市民体育館	13:00	琉球コラソン vs 大崎電気		
11月15日(日)	宮城県	大和町総合体育館	14:00	トヨタ紡織九州 vs 湧永製薬			
11	11月21日(土)	埼玉県	和光市総合体育館	14:00	大崎電気 vs 北陸電力		
		愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs 大同特殊鋼		
11月22日(日)	佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	トヨタ紡織九州 vs トヨタ車体			
12	11月28日(土)	愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs 琉球コラソン		
			知立市福祉体育館	14:00	トヨタ車体 vs 大崎電気		
		宮崎県	小林市民体育館	16:00	湧永製薬 vs 大同特殊鋼		

13	12月5日(土)	福井県	北陸電力福井体育館フレア	13:00	北陸電力 vs 湧永製薬		
	12月6日(日)	佐賀県	神埼中央公園体育館	15:00	トヨタ紡織九州 vs 大同特殊鋼		
14	12月12日(土)	愛知県	稲沢市総合体育館	14:00	豊田合成 vs 大崎電気		
		愛知県	三好公園総合体育館アリーナ	13:00	トヨタ紡織九州 vs 北陸電力		
	12月13日(日)	高知県	高知県民体育館	13:00	大同特殊鋼 vs 琉球コラソン		
15	1月16日(土)	岩手県	岩手県営体育館	14:00	大崎電気 vs 湧永製薬		
		佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	15:00	トヨタ紡織九州 vs 豊田合成		
		沖縄県	沖縄県立武道館	13:00	琉球コラソン vs 北陸電力		
16	1月23日(土)	広島県	中区スポーツセンター	15:00	湧永製薬 vs トヨタ紡織九州	13:00	メイプルレッズ vs ソニー
		熊本県	熊本県立総合体育館	14:00	大崎電気 vs 琉球コラソン		
	1月24日(日)	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	H C名古屋 vs 北國銀行
17	1月30日(土)	石川県	金沢市総合体育館			13:00	北國銀行 vs メイプルレッズ
		佐賀県	トヨタ紡織九州クレインアリーナ	15:00	トヨタ紡織九州 vs 琉球コラソン		
	1月31日(日)	富山県	高岡市竹平記念体育館	11:00	北陸電力 vs トヨタ車体		
18	2月6日(土)	三重県	鈴鹿市立体育館			14:00	三重 vs H C名古屋
		鹿児島県	霧島市国分体育館	13:00	豊田合成 vs 湧永製薬	15:00	ソニー vs オムロン
	2月7日(日)	奈良県	生駒市市民体育館			14:00	北國銀行 vs ソニー
19	2月14日(日)	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	H C名古屋 vs ソニー
		愛媛県	松山市コミュニティセンター体育館			12:00	三重 vs 北國銀行
						13:45	オムロン vs メイプルレッズ
20	2月20日(土)	石川県	金沢市総合体育館			13:00	北國銀行 vs オムロン
		広島県	東区スポーツセンター			13:00	ソニー vs 三重
						15:00	メイプルレッズ vs H C名古屋
21	2月27日(土)	熊本県	水俣市立総合体育館			14:00	オムロン vs 三重
		鹿児島県	霧島市国分体育館			14:00	ソニー vs メイプルレッズ
	2月28日(日)	愛知県	ブラザー工業体育館			13:00	H C名古屋 vs 北國銀行
22	3月5日(金)	愛知県	ウィングアリーナ刈谷	19:00	トヨタ車体 vs 豊田合成		
	3月6日(土)	沖縄県	沖縄県立武道館	14:00	琉球コラソン vs 湧永製薬		
	3月7日(日)	茨城県	ひたちなか市総合運動公園総合体育館	14:00	大崎電気 vs 大同特殊鋼		

プレ オフ	3月20日(土)	東京都	東京体育館		女子準決勝(レギュラーシーズン2位 vs レギュラーシーズン3位)
					男子準決勝(レギュラーシーズン1位 vs レギュラーシーズン4位)
					男子準決勝(レギュラーシーズン2位 vs レギュラーシーズン3位)
	3月21日(日)	東京都	東京体育館		女子決勝
					男子決勝

◎最新の試合情報は、日本ハンドボールリーグHPをご覧ください。

HPアドレス：<http://www.jhl.handball.jp/>

携帯サイト：<http://www.jhl.handball.jp/i/>

※日本ハンドボールリーグHPをリニューアルしました。



滋養強壯 虚弱体質

肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性消耗性疾患
・妊娠授乳期などの場合の栄養補給

医薬品



ショピン

医薬品



キョレピン



元気、やる気 笑顔、湧く。

お取扱い店のお問い合わせは **TEL 0120-39-0971**

受付時間 月～金(祝日を除く)9:00～17:00(12:00～13:00を除く)

丸善

wakunaga since 1955

http://www.wakunaga.co.jp

～どこへ行く実業団選手権～

50回目を迎えた全日本実業団選手権が名古屋で行われた。紆余曲折を経て60年暮れに広島で第1回大会が開催されてから半世紀が経過したが、今や実業団界は大きな曲がり角にさしかかっていると言っている。

ご存じのように、100年に一度と言われる世界同時不況。企業からは大幅な縮小や休・廃部の声が、ハンドボールだけでなく日本スポーツ界全体、世界から聞こえてくる。

全日本実業団選手権は選手参加資格を見ても、一時は関連会社、嘱託など緩和されたが、発足当時の「同一企業体に所属する社員」と位置付けられている。しかし、今回の記念大会に出場したチームを眺めても、この規定に該当しないチームも出場しているのは確かである。

選手参加資格はともかく、企業チームにこだわれば、大会自体の存続が危ぶまれる時代といっている。

とくに女子の参加は、昨年より1チーム増えたが、それでもわずか6チームにすぎない。しかもクラブチームが2チームもある。ということから見れば「同一企業」などはありえない状況であることは明らかだ。

そうした重大な時期に直面している現状を眺めれば、ここは「実業団連盟」を発展的に解消して「社会人連盟」に名称を改称し、広く門戸を開いていくべきではないだろうか。

企画・広報委員

早川 文司

フリースロー
Free Throw

日本のスポーツ界が現在のように発展してきた過程を考えれば、確かに企業の存在抜きに語れないのは間違いない。世界のスポーツ界から見れば、日本独特の特異な現象であることも、また事実である。

しかし、今の経済状況を思うと、急速に回復するとは考えにくい。展望は開けないとも言える。

先にこの欄でも何度か触れたが、日本スポーツ界は明らかに方向転換する、いや、方向転換しなければいけない立場に置かれていると言っても過言ではない。

そうした中で、日本リーグの受け皿となる新ディビジョンが新設されるなど、新しい流れも出てきた。ここらで一度、ハンドボール界全体を見渡して、大会の位置付けや組織の再点検をすることも必要ではないだろうか。

すべての愛好者が喜んで参加できる球界へ—それがさらなる発展へつながら一つの道ではないかと言う気がしている。そういうことが競技者人口拡大にもつながるはずだ。



HP300 ¥5,355 (本体価格¥5,100)

検定球3号、ボラーレ、
手縫い、人工皮革、
カラー：イエロー

HP200 ¥5,250 (本体価格¥5,000)

検定球2号、ボラーレ、
手縫い、人工皮革、
カラー：イエロー

MIKASA®
SPORTS EVERY DAY!

株式会社 ミカサ
www.mikasports.co.jp